

平成28年度
事業報告書
 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(1) 農作物共済関係
 (引 受)

区分		項目	組 合 員 数	引 受 面 積	特 定 農 作 物 共 済 限 度 額	引 受 収 量	共 済 金 額	徴収共済掛金 (A)	交付金または (△)納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) + (B)
			人	a	円	kg	円	円	円	円
水 稲	品 質		2	307.3	2,483,125	0	2,483,125	7,188	4,254	11,442
	一 筆		15,034	1,552,202.9	8,985,394,324	53,262,555	8,985,394,324	2,767,163	1,509,704	4,276,867
	小 計		15,036	1,552,510.2	8,987,877,449	53,262,555	8,987,877,449	2,774,351	1,513,958	4,288,309
陸 稲			0	0	0	0	0	0	0	0
麦	一 筆	28年産	173	81,967	127,785,694	1,940,162	127,785,694	1,541,495	81,098	1,622,593
		29年産	162	80,575	136,719,202	2,024,742	136,719,202	1,641,471	85,682	1,727,153
	災 害 収 入	28年産	67	45,749	85,629,047	0	85,629,047	2,908,673	△ 586,658	2,322,015
		29年産	67	52,404	99,695,064	0	99,695,064	3,314,144	△ 671,639	2,642,505
	小 計			229	132,979	236,414,266	2,024,742	236,414,266	4,955,615	△ 585,957
合計 (麦 28年産除く)			15,265	1,685,489	9,224,291,715	55,287,297	9,224,291,715	7,729,966	928,001	8,657,967

※麦については、戸別所得補償参加者の単位当たり共済金額の選択確認のため、翌年度に引受変更が生じる場合があるので、引受実績は確定したものではない
 (最終引受実績は、翌年度総代会資料に記載する)。

(引受概要)

水稲と麦は、営農計画書との一体化を行い経営所得安定対策との整合性を図った。28年産水稲の引受面積は前年比97.5%と減少した。29年産麦の引受面積は前年比104.1%と増加した。

(被害)

区分		項目	被害組合員数	被害面積	共済減収量	共済金	共済金額
			人	a	kg	円	%
水稲	品質		0	0.0	0	0	0.0
	一筆		74	3,348.2	26,584	4,408,170	0.0
陸稲			0	0.0	0	0	—
麦	一筆		28	2,121.0	13,356	1,241,107	1.0
	災害収入		23	17,096.8	0	4,435,769	5.2
合計			125	22,566.0	39,940	10,085,046	

(被害及び評価概況)

水稲では、8月下旬の台風9号10号による風雨を伴い、倒伏が原因による生育不良や穂発芽が見られた。また、7月下旬、8月下旬及び9月下旬に曇雨天の日が続き日照不足により、いもち病が発生した。一部の地域では、スクミリンゴガイの大量発生により、直播稲の出芽苗を狙われる食害が起こり、支払共済金額は、440万余円となった。麦類については、1月中旬の降雪や4月下旬の降雨等により、地表水が滞水したため土壌湿潤害が発生し、一部の地域では著しい減収が見られ、支払共済金は567万余円となった。

(支払)

区分		項目	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源				実支払共済金
					保険金	手持掛金額	法定積立金額	特別積立金額	その他
				円	円	円	円	円	円
水稲			12月21日	4,408,170	881,634	3,526,536			
陸稲									
麦	一筆		9月21日	1,241,107	248,221	992,886			
	災害収入		12月21日	4,435,769	887,153	2,322,015	1,226,601		
合計				10,085,046	2,017,008	6,841,437	1,226,601	0	0

(損害防止)

水稲は、籾種消毒薬剤（テクリードC）の薬剤費一部補助として、347万余円を助成し、ラジコンヘリ共同防除実施団体に薬剤補助として、52万余円を助成した。また、麦類については、赤かび病防除薬剤としてトップジンM水和剤・ゾルを66万余円分を交付し、ラジコンヘリでの防除に対しては、薬剤補助として71万余円の助成を行った。

(2) 家畜共済関係

(引 受)

項目 区分	組合 員数	有資格 頭数	事業計画 頭数①	引受頭数 ②	②	共 済 金 額	徴 収 共済掛金	連 合 会 納 入		交 付 金	手持共済掛金	
					①			保 険 料	技 術 料		(甲)	(乙)
					%	円	円	円	円	円	円	円
乳牛の雌等	7	320	186	287	154.3	35,659,819	3,830,691	428,734	2,371,901	0	1,030,056	
胎 児			111	92								
肉用牛等	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	
胎 児			0	0								
一 般 馬	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	
種 豚	1	2,380	120	123	102.5	6,349,600	3,124	2,095	0	0	1,029	
肉 豚	1	17,000	1,100	1,025	93.2	10,660,000	4,094	2,751	0	0	1,343	
合計	9	19,700	1,406	1,435	102.1	52,669,419	3,837,909	433,580	2,371,901	0	1,032,428	0

(引受概要)

引受については、廃業した農家もあり戸数は9戸（対前年比81.8%）に減少したが、引受頭数は1,435頭（対前年比100.4%）と増加した。また共済金額では52,669千円（対前年比92.1%）と減少した。

(事 故)

区 分	項 目	被害組合員数	死 廃 事 故			病 傷 事 故		
			頭 数			支払共済金	件 数	支払共済金
			死 亡	廃 用	計			
乳牛の雌等	胎 児	7	7	20	27	4,526,547	254	4,139,910
肉用牛等	胎 児	0	0	0	0	0	0	0
一 般 馬		0	0	0	0	0	0	0
種 豚		0	0	0	0	0	0	0
肉 豚		0	0	0	0	0	0	0
合 計		7	7	20	27	4,526,547	254	4,139,910

(被害概況)

事故関係については、運動器系、循環器系等による死廃事故で452万円余り(対前年比91.6%)病傷事故では、生殖器系、泌乳器系等で413万円余り(対前年比112.6%)の支払共済金であった。

(損害防止)

区 分	項 目	実 施 種 目	対 象 頭 数 又 は、回 数	経 費 概 算	摘 要
特定損害防止		—	0	0	
一般損害防止		0	0	0	

(3) 果樹共済（なし）関係

(引 受)

年産	果樹共済再保険区分		組合員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) - (B)
	区 分	果樹区分							
28	半相殺減収 総合短縮方式	半相殺減収 総合短縮方式	人 194	a 5,069.5	kg 1,201,271	円 241,312,000	円 5,366,357	円 4,361,841	円 1,004,516
	樹園地単位 減収総合短縮方式	樹園地単位 減収総合短縮方式	61	2,294.9	547,657	94,078,000	1,054,109	828,077	226,032
29	半相殺減収 総合短縮方式	半相殺減収 総合短縮方式	184	4,753.1	1,124,452	229,034,000	4,954,334	4,022,478	931,856
	樹園地単位 減収総合短縮方式	樹園地単位 減収総合短縮方式	57	2,121.9	502,050	87,840,000	999,370	755,516	243,854
	合 計		241	6,875.0	1,626,502	316,874,000	5,953,704	4,777,994	1,175,710

(引受概要)

組合役職員及び関係機関の協力を得て推進を行ったが、農家の高齢化により廃業及び面積の縮小が多く、前年対比面積(93.4%)、前年対比戸数(94.5%) になった。

(被害)

果樹共済再保険区分		被害組合員数	3割・4割超過 被害面積	認定減収量	共済金	共済金
区分	果樹区分					共済金額
		人	a	kg	円	%
半相殺減収総合短縮方式	半相殺減収総合短縮方式	4	35.0	3,575	320,510	0.1
樹園地単位減収総合短縮方式	樹園地単位減収総合短縮方式	1	18.0	2,020	107,550	0.1
合計		5	53.0	5,595	428,060	0.1

(被害及び評価概況)

今年度は、4月から5月にかけて雨量が少なく病気の発生は少なかったが、6月に入り果実感染時期に雨量が多かった為黒星病、カメ虫などの発生があった。みつ症については昨年より発生は多かった。

(支払)

果樹共済再保険区分		支払月日	実 共 支 済 払 金	共 済 金 支 払 財 源					実 支 払 金
区分	果樹区分			保 険 金	手 持 掛 金 額	法 定 積 立 金 額	特 別 積 立 金 額	そ の 他	共済金
			円	円	円	円	円	円	%
半相殺減収総合短縮方式	半相殺減収総合短縮方式	12月20日	320,510	224,357	96,153	0	0	0	100.0
樹園地単位減収総合短縮方式	樹園地単位減収総合短縮方式	12月20日	107,550	75,285	32,265	0	0	0	100.0
合計			428,060	299,642	128,418	0	0	0	100.0

(損害防止)

6月に病虫害防除所及び果樹研究所よりカメ虫、シンクイ虫の発生が例年より早いとする情報があった為、共済加入者全員に情報を郵送で送った。また薬剤経費補助としてなし加入者5aあたり950円を支払う。

果樹共済（ぶどう）関係
 (引 受)

年産	果樹共済再保険区分		組員数	引受面積	標準収穫量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) - (B)
	区 分	果樹区分							
28	半相殺減収 総合短縮方式	半相殺減収 総合短縮方式	人 0	a 0.0	kg 0	円 0	円 0	円 0	円 0
	樹園地単位 減収総合短縮方式	樹園地単位 減収総合短縮方式	0	0.0	0	0	0	0	0
	半相殺特定 危険方式	減収ひょう害 方式	22	650.1	55,491	40,211,000	96,877	60,465	36,412
	合 計		22	650.1	55,491	40,211,000	96,877	60,465	36,412

(引受概要)

生産団体の協力を得て、戸別推進を行い、前年対比面積（98.2%）、前年対比戸数（95.7%）だった。

(被害)

果樹共済再保険区分		被害組合員数	3割・4割超過 被害面積	認定減収量	共済金	共済金	
区分	果樹区分					共済金額	
		人	a	kg	円		%
半相殺減収総合短縮方式	半相殺減収総合短縮方式	0	0.0	0	0		—
樹園地単位減収総合短縮方式	樹園地単位減収総合短縮方式	0	0.0	0	0		—
半相殺特定危険方式	減収ひょう害方式	0	0.0	0	0		0.0
合計		0	0.0	0	0		0.0

(被害及び評価概況)

降雹もなく被害はなかった。

(支払)

果樹共済再保険区分		支払月日	実共 支 払 金	共 済 金 支 払 財 源					実 共 済 金
区分	果樹区分			保 險 金	手 持 掛 金 額 充 当	法 定 積 立 金 額 充 当	特 別 積 立 金 額 充 当	そ の 他	共済金
			円	円	円	円	円	円	%
半相殺減収総合短縮方式	半相殺減収総合短縮方式		0	0	0	0	0	0	—
樹園地単位減収総合短縮方式	樹園地単位減収総合短縮方式		0	0	0	0	0	0	—
半相殺特定危険方式	減収ひょう害方式		0	0	0	0	0	0	0.0
合計			0	0	0	0	0	0	0.0

(損害防止)

共済事故の予防、防除について指導及び実施の状況等を記載する（費用関係は損益計算書明細にゆずる。）。

病害虫防除所及び果樹研究所より発生した、情報を生産者に提供する。今年は、薬剤経費補助としてぶどう加入者5aあたり500円を支払う。

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

年産	項 目		組合員数	引受面積 共済箱数	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) - (B)	
	畑作物共済再保険区分									
29	茶	半 相 殺 方 式	人	a	kg	円	円	円	円	
		災 害 収 入 共 済 方 式								
		計								
28	茶	半 相 殺 方 式								
		災 害 収 入 共 済 方 式								
		計								
	大豆	半 相 殺 ・ 一 筆								
		全 相 殺	13	8,861.3	70,033	7,493,531	381,050	296,373	84,677	
		計	13	8,861.3	70,033	7,493,531	381,050	296,373	84,677	
	ス イ ー ト コ ー ン									
	農 作 物 計		13	8,861.3	70,033	7,493,531	381,050	296,373	84,677	
	蚕繭	春 蚕 繭			箱					
		初 秋 蚕 繭								
晩 秋 蚕 繭										
蚕 繭 計										
合 計			13	8,861.3	70,033	7,493,531	381,050	296,373	84,677	

(引受概要)

新規加入推進により、大豆の引受面積は約88h a（対前年比113.6%）と増加し、共済金額も約750万円（対前年比123.4%）となり増加した。

(被害)

項目		被害組合員数	被害面積及び 被害箱数	共済減収量	共済金	共済金額 共済金額
畑作物区分		人	a	kg	円	%
茶	半相殺方式					
	災害収入共済方式					
	計	0	0.0	0	0	
大豆	半相殺・一筆	0	0.0	0	0	—
	全相殺	2	1,085.5	2,699	156,327	2.1
	計	2	1,085.5	2,699	156,327	2.1
スイートコーン						
農作物計		2	1,085.5	2,699	156,327	2.1
蚕繭	春蚕繭		箱			
	初秋蚕繭					
	晩秋蚕繭		0.00	0	0	
	蚕繭計	0				
合計		2	1,085.5 0.00	2,699	156,327	2.1

(被害及び評価概況)

大豆の被害は、8月下旬の台風により風水害が発生し、また8月中旬から9月中旬にかけての降雨により土壌湿潤害が発生。15万円余（対前年比10.9%）の支払共済金となった。

(支 払)

畑作物区分	項 目	支 払 月 日	実支払共済金 円	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金 %
				保 険 金 円	手持掛金充当額 円	法定積立金充当額 円	特別積立金充当額 円	そ の 他 円	
茶	半 相 殺								
	災 害 収 入								
	計		0	0	0	0	0	0	
大豆	半相殺一筆								
	全 相 殺	3月30日	156,327	140,694	15,633				100.0
	計		156,327	140,694	15,633	0	0	0	100.0
スイートコーン									
農 作 物 計			156,327	140,694	15,633	0	0	0	100.0
蚕 繭	春 蚕 繭								
	初 秋 蚕 繭								
	晩 秋 蚕 繭								
	蚕 繭 計		0	0	0	0	0	0	
合 計			156,327	140,694	15,633	0	0	0	100.0

(損害防止)

共済事故の予防、防除について指導及び実施の状況等を記載する（費用関係は損益計算書明細にゆずる。）。

損害防止の為、アルバリン水溶剤500gの配布と無人ヘリ防除薬剤費の一部補助を行った。

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

施設区分		項目	組合員数	引受棟数	設置面積	共 済 価 額					合計	
						特定園芸施設	特定園芸施設復旧費用	附帯施設	附帯施設復旧費用	施設内物		撤去費用
			人	棟	m ²	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
ガラス	I 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	II 類		62	87	79,670	745,005	134,193	43,423	11,777	36,032	71,953	1,042,383
プラスチック	I 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	II 類		354	1,685	347,904	647,405	44,790	30,547	2,167	40,102	32,433	797,444
	III 類		62	72	66,735	142,074	13,903	8,677	703	28,027	20,981	214,365
	IV 類 (甲)		161	234	207,087	882,904	99,032	35,571	5,758	68,200	77,018	1,168,483
	IV 類 (乙)		79	115	93,313	421,689	68,221	25,212	6,260	18,365	41,889	581,636
	V 類		41	62	35,025	189,492	37,904	21,718	6,254	5,281	19,229	279,878
	VI 類		8	35	3,990	6,039	801	0	0	0	360	7,200
VII 類		112	255	500,388	218,941	8,149	0	0	0	22,376	249,466	
合計			879	2,545	1,334,112	3,253,549	406,993	165,148	32,919	196,007	286,239	4,340,855

施設区分		項目	共 済 金 額						徴収共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	手持共済掛金 (A) - (B)	
			特定園芸施設	特定園芸施設復旧費用	附帯施設	附帯施設復旧費用	施設内物	撤去費用				合計
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	円	円	円	
ガラス	I 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	II 類		595,971	107,344	34,737	9,420	28,819	57,530	833,821	719,630	589,577	130,053
プラスチック	I 類		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	II 類		517,219	35,672	24,359	1,721	32,032	25,761	636,764	3,217,991	2,607,569	610,422
	III 類		113,631	11,115	6,940	562	22,413	16,773	171,434	938,541	759,562	178,979
	IV 類 (甲)		705,346	79,201	28,450	4,605	54,542	61,504	933,648	1,518,774	1,230,892	287,882
	IV 類 (乙)		337,301	54,557	20,162	5,007	14,687	33,490	465,204	793,604	649,728	143,876
	V 類		151,567	30,310	17,369	4,998	4,223	15,366	223,833	376,463	307,150	69,313
	VI 類		4,811	633	0	0	0	285	5,729	76,531	61,598	14,933
VII 類		175,055	6,510	0	0	0	17,891	199,456	1,433,996	1,152,351	281,645	
合計			2,600,901	325,342	132,017	26,313	156,716	228,600	3,469,889	9,075,530	7,358,427	1,717,103

※組合員数、引受棟数及び設置面積については、補償の拡充に伴う切り替え分を差し引いた実績、共済価額及び共済金額については、切り替え分についても加算した実績である。

(引受概要)

廃業や他保険加入に切り替えもあり戸数が前年度より (98.7%) 減った。

棟数については、有資格未加入者の個別訪問による新規加入が有り (101.0%) 増えた。

(被 害)

施設区分		被 害			損害の額	共 済 金								共済金
		組合員数	棟 数	附 帯 設 施 数		特定園芸施設	特定園芸施設復旧費用	附帯施設	附帯施設復旧費用	施設内農作物	撤去復旧費用	合 計	共済金額	
		人	棟	基	円	円	円	円	円	円	円	円	円	%
ガラス	I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	II 類	2	2	0	1,533,845						1,227,076		1,227,076	0.15
プラスチック	I 類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	II 類	22	24	2	1,352,507	1,000,723	356,000	79,539	0	0	34,000	1,470,262	0.23	
	III 類	1	1	0	105,727	0	0	0	0	84,475	0	84,475	0.05	
	IV類 (甲)	8	12	0	1,503,714	462,825	0	0	0	740,142	0	1,202,967	0.13	
	IV類 (乙)	1	1	0	89,625	0	0	0	0	71,700	0	71,700	0.02	
	V 類	1	1	1	525,000	0	0	280,000	140,000	0	0	420,000	0.19	
	VI 類	1	1	0	31,886	25,476	0	0	0	0	0	25,476	0.44	
合計	58	65	3	6,868,133	2,868,840	356,000	359,539	140,000	2,123,393	34,000	5,881,772	0.17		

(被害及び評価概況)

4月11日4月17日突風によりパイプ・ビニール・ネットに被害を受ける。また5月には、褐斑病の被害を受ける。

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金
	保 険 金	手持掛金充当額	法定積立金充当額	特別積立金充当額	そ の 他	共済金
円	円	円	円	円	円	%
5,491,772	4,942,571	549,201	0	0	0	93.4

(損害防止)

病害虫発生予察情報等迅速な情報提供や、被害を未然に防止するよう引受時にアルバリン顆粒水溶剤、クリンテート補修テープを配布。

またプラスチックVII類（多目的ネット）加入組合員にトップジンMペーストを配布した。

(6) 任意共済関係

1 建物共済

(引受関係)

項目 区分	加入棟数	共済金額	共 済 掛 金			1棟当たり平均 共済金額
			純共済掛金	組合事務費	連合会事務費	
火災共済	棟 39,412	円 391,780,210,000	円 166,148,165	円 111,108,538	円 24,509,849	円 9,940,000
総合共済	1,190	10,073,450,000	13,721,380	9,069,028	1,990,261	8,470,000
合計	40,602	401,853,660,000	179,869,545	120,177,566	26,500,110	9,900,000

(引受概要)

建物共済の引受については、業務要件及び物件の取り壊し等により、火災共済の引受共済金額は3,917億8,021万円（対前年比95.3%）と減少した。
総合共済については、異常気象による竜巻や突風、地震の備えにより引受共済金額は100億7,345万円（対前年比103.8%）と増加した。

(事故関係)

事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金(ロ)		被害率 (ロ)／(イ)	備考
		火災	風水害等		
棟 67	千円 784,000,000	円 117,594,529	円 1,202,054	% 15.15	

(事故概況)

事故については、全焼や落雷、毀損等の事故が発生し、支払共済金は118,796千円（対前年比259.0%）であった。

2 農機具損害共済

(引受)

加入台数	共済金額	共 済 掛 金			1台当たり平均 共済金額
		純共済掛金	組合事務費	連合会事務費	
2,035 台	4,559,550,000 円	11,701,581 円	5,229,494 円	2,238,475 円	2,240,000 円

(引受概要)

農機具損害共済の引受については、昨年並みの加入で台数は2,035台（対前年比99.9%）引受共済金額は45億5,955万円（対前年比104.5%）であった。

(事故)

事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被害率 (ロ)/(イ)	備考
15 台	69,350,000 円	12,937,843 円	18.66 %	

(事故概況)

事故については、火災や衝突、接触等の事故により支払共済金は1,293万円（対前年比289.6%）となった。

(7) 農機具更新共済関係

(引受)

加入台数	共済金額	減価共済金額	共 済 掛 金		
			純共済掛金	組合事務費	連合会事務費
32 台	78,000,000 円	77,700,000 円	11,782,775 円	218,400 円	181,600 円

(引受概要)

農機具更新共済の引受については、満期をむかえた物件について農機具損害共済へ推進、移行している為に引受台数は32台（対前年比76.2%）引受共済金額は7800万円（対前年比88.3%）と減少した。

(事故)

事故台数	期間満了等台数	加入総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金			被害率 (ロ)/(イ)
			火災・風水害等(ロ)	期間満了によるもの	計	
3 台	12 台	20,800,000 円	953,923 円	17,150,000 円	18,103,923 円	4.59 %

(事故概況)

事故については、3台すべて稼働中の接触事故であった。期間満了による減価共済金（満期金）は1,715万円であった。

(8) 業務関係

ア 重要な処理事項

年	月	日	処 理 事 項
平成28年	4月	20日	監事会、決算監査（中部）
	4	21	決算監査（本所）
	5	10	理事会
	5	10	余裕金運用委員会
	5	24	第14回通常総代会（むさしの村）
	6	10	合併推進協議会
	7	5	合併幹事会財務調査
	8	3	合併推進協議会
	8	22	理事会
	8	22	余裕金運用委員会
	8	29	評価会（麦）
	9	20	合併予備契約調印式
	9	29	コンプライアンス改善委員会
	10	5	合併推進協議会
	10	21	臨時総代会
	10	28	監事会並びに上半期定期監査
	11	11	評価会（果樹）
	11	14	合併推進協議会
	11	14	設立委員会
	11	16	県常例検査（行田本所）
	11	17	県常例検査（行田本所）
	11	22	県常例検査（中部支所）
	11	29	余裕金運用委員会
	11	29	理事会
	11	30	評価会（水稻）
	11	30	評価会（麦）
	12	21	合併設立委員会
平成29年	1	16	合併設立委員会
	1	23	合併設立委員会
	2	6	評価会（家畜）
	2	16	余裕金運用委員会
	2	16	理事会
	2	17	コンプライアンス改善委員会
	2	28	臨時総代会
	3	1	評価会（大豆）
	3	3	合併設立委員会
	3	21	無人ヘリ運営委員会

イ 総 代 会

(ア) 通常総代会

(平成28年 5月24日)

総代会日現在総代数	(A)	144人	出席率
本人出席	(B)	82人	(B/A 56.9%)
代理出席		一人	
書面出席		55人	
出席者計	(C)	137人	(C/A 95.1%)
重要な議事及び議決事項			
第1号議案	平成27年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び不足金処理案の承認について		
第2号議案	平成28年度事業計画、業務収支予算書、事務費賦課額及び賦課方法の承認について		
第3号議案	役員報酬、損害評価会委員及び共済支部長手当額の承認について		
第4号議案	余裕金預入先金融機関の承認について		
第5号議案	借入金最高限度額の承認について		
第6号議案	農業共済組合共済規程の一部改正について		
第7号議案	損害評価会委員の選任について		

(イ) 臨時総代会

(平成28年10月21日)

総代会日現在総代数	(A)	144人	出席率
本人出席	(B)	70人	(B/A 48.6%)
代理出席		一人	
書面出席		63人	
出席者計	(C)	133人	(C/A 92.4%)
重要な議事及び議決事項			
第1号議案	合併の議決について		
第2号議案	合併予備契約書の承認について		
第3号議案	設立委員会規約の承認及び設立委員の選任について		

(ウ) 臨時総代会

(平成29年 2月28日)

総代会日現在総代数	(A)	144人	出席率
本人出席	(B)	41人	(B/A 28.5%)
代理出席		一人	
書面出席		102人	
出席者計	(C)	143人	(C/A 99.3%)
重要な議事及び議決事項			
第1号議案	平成29年度家畜共済危険段階共済掛金率の設定について		

ウ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増減 (△)	摘 要
28,485 人	26,955 人	△ 1,530 人	

エ 役職員その他

(ア) 役 職 員

役員数	理 事						監 事		合 計	
	常 勤 0人	非 常 勤 23人		計 23人			3人		26人	
職員数	本 所							中部支所	南部支所	計
		参 事	総務課	農産課	特産課	家畜課	建物課			
		人	人	人	人	人	人	人	人	人
	男	1	5	7	5	3	0	13	6	40
	女	0	1	1	0	0	2	4	1	9
計	1	6	8	5	3	2	17	7	49	

(イ) 総代、共済支部長、損害評価会委員、損害評価員

総 代	共 済 支 部 長	損 害 評 価 会 委 員	損 害 評 価 員
144 人	2,058 人	99 人	992 人